



平成 29 年 12 月 20 日

各 位

東京都千代田区丸の内 1 丁目 5 番 1 号
 株式会社 パ ソ ナ グ ル ー プ
 代表取締役グループ代表兼社長 南 部 靖 之
 コード 2 1 6 8 東 証 第 一 部
 問合せ先 専務執行役員 CFO 仲 瀬 裕 子
 (TEL. 03 - 6734 - 0200)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 7 月 14 日に公表した平成 30 年 5 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 5 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想数値の修正

(平成 29 年 6 月 1 日 ~ 平成 29 年 11 月 30 日)

(単位: 百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属 する四半期純利益 | 1 株当たり 四半期純利益 |
|---|---------|-------|-------|----------------------|------------------|
| 前回発表予想 (A) | 154,620 | 1,240 | 1,190 | 500 | 円 銭 13 58 |
| 今回修正予想 (B) | 150,000 | 2,500 | 2,500 | 400 | 10 87 |
| 増減額 (B - A) | 4,620 | 1,260 | 1,310 | 900 | |
| 増減率 (%) | 3.0 | 101.6 | 110.1 | - | |
| (参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 5 月期第 2 四半期) | 136,867 | 794 | 759 | 816 | 22 18 |

2. 修正の理由

第 2 四半期連結累計期間の業績につきましては、人材需要は引き続き堅調で、売上高は概ね計画通りに推移しております。利益面ではインソーシングにおける収益性の向上やグループ各社における業務プロセスの標準化や IT システム基盤の共通化による効率化が進み、期初の想定より営業利益、経常利益が計画を大きく上回る見通しとなりました。よって上表の通り、第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想を修正いたします。

なお、通期連結業績予想につきましては、人材需要は引き続き旺盛と見られるものの、労働契約法や派遣法など法制面による影響が不透明であることや、パブリックソリューションにおけるコストの期ずれ等を総合的に勘案し、平成 29 年 7 月 14 日に公表した業績予想を据え置きます。

(参考) 通期連結業績予想数値 (平成 29 年 6 月 1 日 ~ 平成 30 年 5 月 31 日)

(単位: 百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------------------------|---------|-------|-------|---------------------|----------------|
| 前回発表予想 | 323,300 | 5,650 | 5,600 | 1,000 | 円 銭 27 17 |
| (参考) 前期実績 (平成 29 年 5 月期) | 280,395 | 4,488 | 4,319 | 129 | 3 52 |

上記予想は現時点で得られた情報に基づいて算定したものであり、実際の業績は様々な要因によって異なる結果となる可能性があることにご留意ください。

以 上